



会 議 録

八幡市教育委員会

| | | | |
|---------------|--------------------------------|---------------|----------|
| 開催日時 | 令和5年8月29日（火曜日） 午後2時30分～午後3時37分 | | |
| 場所 | 本庁舎5階 会議室5-2 | | |
| 出席委員名 | 小橋 秀生（教育長） | 八頭司 めぐみ | |
| | 橋本 陽生（職務代理者） | 狩野 理恵子 | |
| | 佐野 恵理子 | | |
| 委員を除く出席者の職・氏名 | 部長 辻 和彦 | こども未来課長 長尾 忠行 | |
| | 参与 川中 尚 | こども未来課 加川 美和 | |
| | 学校教育課主幹 濱田 将行 | | |
| | | | 《傍聴人 5名》 |

1. 開 会

2. 議 題（協議事項）

(1) 令和6年度以降使用小学校教科用図書に係る採択について

3. 配付資料について

・ 6月、7月議事録（写し）

4. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：9月13日（水）午後3時から

場所：庁舎3階 教育委員会室

※学校訪問先

男山中学校（10：00）

男山東中学校（11：30）



| | 内 容 |
|--|--|
| <p>[教 育 長]</p> <p>[長 尾 課 長]</p> <p>[教 育 長]</p> | <p>1. 開 会</p> <p>それでは、臨時教育委員会を開催いたします。こども未来課 本日の臨時教育委員会に5名の傍聴の申出がございますので、ご報告をいたします。 ただいま事務局より報告のありました傍聴の申出に対しまして、委員会の傍聴の取扱いは八幡市教育委員会傍聴規則第1条で、教育長の許可を得た者は傍聴する事ができると規定されておりますが、委員の皆さんより何かご意見はございますか。ご意見がないようですので、教育長として傍聴を許可したいと思います。事務局から傍聴人に入場するよう伝えてください。暫時休憩します。 《傍聴人が入場し着席》 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。 議題1、令和6年度以降使用小学校教科用図書に係る採択についてです。 今回は令和6年度以降に山城地区の小学校において使用する教科用図書について、採択をする会議でございます。委員の先生方には6月初め頃からたくさん検定済の教科書を検討していただきましたので、ご意見等を積極的に言っていただけたらと思います。先日7月24日に山城地域の地区協議会が開かれ、山城地方で使用する教科書が選定されました。その事について事務局の方から報告を受けながら積極的なご意見をいただき、採択いただければと思います。それでは、まず、事務局から、地区協議会の説明をお願いします。</p> <p>2. 議 題（協議事項）</p> <p>（1）令和6年度以降使用小学校教科用図書に係る採択について</p> |
| <p>[濱 田 主 幹]</p> | <p>失礼します。第2回山城教科用図書採択地区協議会は出席委員20名が全員出席し成立しております。まず、会長より選定についての基本的な観点が提示されました。 1点目 山城地区において学力向上は、大きな課題の一つである。特に児童・生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るための配慮等があるかといった学力向上の視点。 2点目 教育を取り巻く多様な価値観がある中、公教育として多種多様な意見がより反映されているか、公平性が担保されているかの視点。 3点目 管内教員の若年化に伴い、授業の質を担保する上でも、若手教員でも授業で使いやすいかどうかの視点。 4点目 児童・生徒が、親しみやすく、使いやすく、そして主体的・対話的に学習に取り組むことが出来るかどうかの視点。以上4点を観点として、協議がなされました。 小学校の教科用図書の選定ですが、まず教科ごとに順次代表調査員から10分程度調査・研究の報告をして頂きました。調査報告は、府教育長通知である「令和6年度使用小学校及び特別支援学級並びに特別支援学校（小学部）の教科用図書の採択基準及び基本観点について（令和5年5月11日付け5教学第619号京都府教育委員会教育長通知）を踏まえ調査・研究が行われたものでございます。 報告の後、代表調査員に質問を行い、その後代表調査員には退席していただき採択委員のみで協議し、1種類を選んでいただくという流れで選定が行われました。今回については、すべて全員一致で採決されております。以上、報告させていただきます。</p> |
| <p>[教 育 長]</p> | <p>7月24日の採択地区協議会についての報告がありましたけれども、ただいまの報告につきまして、質問ご意見はございませんか。</p> |
| <p>[橋 本 委 員]</p> | <p>従来の選考方法と特に変更点があるのかどうか。例えば、観点等について大きな変更点があるのかどうか。もしありましたらお答えいただきたいと思います。</p> |
| <p>[濱 田 主 幹]</p> <p>[教 育 長]</p> | <p>観点そして選考方法ともに、従来と同じ対応となっております。 他に何かご質問等ございませんか。</p> |
| <p>[濱 田 主 幹]</p> | <p>これから順次、令和6年度以降使用小学校教科用図書採択を行いたいと思います。それでは、まず事務局から説明をお願いします。 小学校の調査報告書ですが、資料は別冊の2になります。この資料をもとにご協議をお願いいたします。なお、当該調査報告書は「令和6年度使用小学校及び特別支援学級並びに特</p> |



| | |
|---------------------|---|
| [教育長] | 別支援学校（小学部）の教科用図書の採択基準及び基本観点について」を踏まえ、調査・研究が行われたものでございます。調査報告書については、各発行者の優劣をつけることが目的ではなく、努めて各発行者の特徴を記入していただいております。 ただいまの説明について、委員からご質問等ございませんか。質問がないようですので、続いて協議事項に移らせていただきます。 |
| [濱田主幹] | 【国語】 まず、最初に国語から行います。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。 |
| [教育長] [狩野委員] | 国語について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「光村は、古くからの読み応えのある教材が多く使用されているとのことだが、今の子どもたちにとって現代の生活の感覚と違ってないか」という質問に対し、「光村でも現代の子どもたちに寄り添う教材が用意されている。光村はその上で国語を教える視点として、昔からの教材を大切にしていると感じる。」とのことでした。 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々これに関して何か意見はございませんか。 |
| [教育長] [佐野委員] | 平成29年に改訂されました小学校の学習指導要領では、総則編の第3章教育課程の編成及び実施 第2節教育課程の編成 4 学校段階等間の接続の部分で、「特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう」という文言がありました。そういう視点で見させていただいたところ、光村の教科書は1年生の教科書では、導入部分が読み聞かせや挨拶から始まり、書き方の基本、自己紹介、学校探検での見つけたもの紹介というように、スタートカリキュラムを意識した自然な幼小接続がされているように感じました。また、文学教材の文もリズムのよいところで改行するなど、音読を楽しむための工夫がされており、一事が万事ではございませんが、このような工夫は光村については全ての学年に共通しているように思いました。 |
| [教育長] [佐野委員] | 他に何かご意見等ございませんか。 光村は教科書の冒頭部分で、学習の仕方や1年間に学ぶことと下学年で学んだことにつながりが示されており、系統性が分かりやすく示されていると思います。また単元の進め方についても見通しや問いを持って一人学びや友達との学び合いをし、振り返り次の学習や生活に生かすという流れがどの単元でも大切にされていてよく整理されているので、教員も子どもも使いやすいのではないかと思います。 |
| [教育長] | その他に何かご意見ございませんか。 それでは、国語について光村図書・「国語」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手》 全員一致で光村図書・「国語」を採択します。 【書写】 それでは、次に書写についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。 |
| [濱田主幹] | 書写について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「実際に教員が子供たちに授業の中で教える上でイメージが伝えやすく、授業で使いやすいと思われるようなものがあつたのか」という質問に対して、「東京書籍は、必要なことを最小限にきっちり押さえられており、各教材での目標も分かりやすく示されており、特性のある児童にも見やすい。」とのことでした。 次に「書写は1人での活動が基本になるが、思考・判断・表現の育成には、書写の活動を通して、子供たち同士、または先生とコミュニケーションなども必要になってくる。その点でイラストや活動など薦められる教科書はあるか」との質問に対して、「一人での学びでも、清書と手本を比べて違いを比べて思考・判断・表現を高めることをしている。また、他者との学びという点では、自分の作品を交流し合うことや、書いたものを広げる、例えば、ポス |



| | |
|----------------------|---|
| [教育長] [佐野委員] | ターにするとか、お手紙を書くとか、ということについて、これはどの教科書でもできる。ただ、その内容が厳選されているという点で東京書籍がよいと考える。」とのことでした。 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。 東書は、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習の流れが分かりやすく示されており、自ら課題を見つけ、主体的に学習を進めやすいように思いました。特に「見つけよう」で、子どもが学習のねらいやめあてをつかむための問いが記述されているのがよいのではないかと思います。 |
| [教育長] [八頭司委員] | 他に何かご意見はございませんか 東書は、単元の構成が見開きに大きくて見やすくレイアウトされており、全体として色合いも落ち着いています。情報が精選されてシンプルであることも書写の授業に適していると思います。 |
| [教育長] | 他にご意見はございませんか。 それでは、書写について東京書籍・「新しい書写」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手》 全員一致で東京書籍・「新しい書写」を採択します。 【社会】 |
| [濱田主幹] | それでは、次に社会についてよろしくお願いします。協議会の選定は、日本文教出版でございませぬ。協議会が日本文教出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。 社会について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「6年生の日本とつながりの深い国で、韓国が外され、フランスがあがっている教科書があったが、何か調査員で意見はあったか」との質問には、「フランスがあがっているのは、パリオリンピックが開催される関連ではないか。」との回答でした。 「京都府のことが載っている教科書はあるか」との質問については、「東京書籍では京都市の鴨川が取り上げられている。教育出版は取り上げられていない。日文は、舞鶴や天橋立等が取り上げられている。」とのことでした。 また、「日文は位置、空間、時間の視点がアイコンで示されているとのことだが、これによって子どもたちが課題を意識して追求できるという効果はあるのか」という質問に対しては、「他の教科書と比べて、日文は一番明確にされているので、子どもたちとの学習活動でかなり深く意識できる内容になっている。」とのことでした。 |
| [教育長] [八頭司委員] | 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。 社会科では、問題解決的な学習が大切だと思うが、日文は、身近な問題から始まり、追求、解決したり、掘り下げたりできるようになっており、その手立てとなる「見方・考え方」が空間・時間・関係の3つの視点で示されているので、思考力・判断力を高められる構成がしっかりしていると思いました。 |
| [教育長] [佐野委員] | 他にご意見はございませんか。 日文は、京都や姫路、滋賀県の栗東市など、近畿地方の市町を多く取り上げていることも特徴として上げられているので、子ども達にとっても関心を持って学習に取り組めるのではないかと思います。ユニバーサルデザインに配慮した紙面で、全ての子どもたちが正しく情報を読み取ることができ、また3社ともにSDGsのページがありますが、日文は、単元の終わりに、「未来につなげるわたしたちのSDGs」というページが設定されており、よりSDGsを意識して現代や未来の課題解決につながる指導や学びができるのではないかと感じました。 |
| [教育長] | 他にご意見はございませんか。 それでは、社会について日本文教出版・「小学社会」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手》 全員一致で日本文教出版・「小学社会」を採択します。 |



【地図】

それでは、次に地図についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[濱田主幹]

地図について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「新しい教科書になって改善点は」との質問に対して、「QRコンテンツが充実している。」との説明がありました。

「帝国の地図帳はページ数がかなり増えているが、どのあたりが充実しているのか」との質問には、「地図の使い方についての説明が詳しい。特に3年生の導入期には有効である。」と回答がありました。

また、「地図のボリュームが帝国と東書で大きな差があるが、使い勝手について調査員からの意見は」との質問には、「帝国は、大阪市、京都市、奈良市の中心部の地図が載っており、3年生の地域の学習で京都のことが学習しやすく、遠足等でも役立ちそうという意見があった。また帝国の特徴である160万分の1の地図は情報量が適切で子どもたちも必要な情報が見つけやすい。」という回答でした。

次に「『地図マスターへの道』が100問あるが、何か意見は出ていたか」との質問には、「授業中に全てするのは難しいが、自学自習で活用できるとの声が出ていた。自分で解答の確認もできるようになっているので、使い勝手がよいとの意見もあった。」とのことでした。

[教育長]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[八頭司委員]

帝国は、地図のボリュームが多いが、増えているページ以上に内容が充実していると感じました。160万分の1の地図は見やすく、かといって情報不足でもありません。またその他の縮尺の地図も、ごちゃごちゃした印象がなく、特性のある児童にも必要な情報が見つけやすいと思います。特に、地形の起伏がビジュアル的に分かりやすいのは、地図を学習で使う上で、重要なポイントではないかと思いました。

[教育長]

他にご意見はございませんか。

[橋本委員]

先ほどのご説明にもありましたが、地図マスターへの道が100問あるとか、そのままずっと読み進めていくだけで、あるいは課題を解くだけで、地図の導入ができるようになっていくというのが特徴的ではないかと思いました。また面白い点は、江戸時代の地図も複数用意されていて、5街道も説明されており、地図の地形から歴史を考える仕掛けがされている点についても非常に関心を持ちました。また、3年生でも読み取りやすい要素、あるいは4年生向けの詳しい地図まで、学年ごとに発達段階に応じてそれぞれ意識した構成になっているように思います。3年生の導入から6年生まで、様々なシーンで地図を活用して学習できる工夫がなされているのではないかと思いました。

[教育長]

他にご意見はございませんか。

それでは、地図について帝国書院・「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手》

全員一致で帝国書院・「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択します。

【算数】

それでは、次に算数についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[濱田主幹]

算数について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「令和の日本型教育の趣旨や目的に沿うような授業展開や構成や、数学的な思考力、判断力、表現力の育成を図る工夫がされている点では各社に大きな差はないとのことだが、子供たちにとって理解しやすい教科書は」との質問に、「ICTの活用による個別最適な学びの部分については、啓林館が、コンテンツの数や学び直しの解説動画が多数ある点でよい。」とのことでした。

また、「算数嫌いにさせないための、丁寧な説明がある教科書は」との質問に対して、「啓林館は、キーワードなどを強調したり、細かく活動過程も説明されたりしている。」とのことでした。

「表紙のデザインはシンプルな方がよいのか」との質問には、「表紙については話していな



いが、内容はシンプルな方がよいとの意見が出ていた。各社ともいろいろなものを盛り込んでいたが、啓林館は一定見やすかった。」とのことでした。

「内容が難しくなると、基礎ができていても、応用が利かないというふうになっていきがちだが、子供たちがまだ簡単な段階でつまずいたときに、考え方のヒントを得られたり、理解を深めたりすることが家庭学習などでしやすいような内容や手助けがあるような教科書は」との質問については、「啓林館と、東京書籍と、日本文教出版については、応用的な問題解決に使うテープ図や線分図、関係図等について、単発的に扱うのではなく、様々な場面で段階を追って系統的に扱っているということを確認している。家庭学習については、先述の通り、デジタルコンテンツの中に解説動画が一番充実されていたのが啓林館なので、家でも子供たちはそれを見て学び直しができると思う。」との回答でした。

「デジタルコンテンツについて、各社で際立った部分があるというような特徴があるのか」との質問には、「啓林館については、圧倒的にコンテンツ数が多く、そのうち約半分以上が解説動画になっている。東京書籍については、デジタルコンテンツ数の多さは2番目だが、児童がその場で回答の正誤判定ができ、その正誤の履歴が残るということで、児童のつまずきを一定把握できるというような特徴があった。後の4社については、特に特徴はなかった。」とのことでした。

[教育長]
[狩野委員]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。
先ほども学習指導要領の改訂のことを少しお話させていただきました。そういう視点で算数の教科書を見せていただきましたが、最初にスタートブックがございまして、その中を見ますと幼児期の学びの芽生えをうまく生かした、わくわくするような内容だったように感じました。子どもがついつい見て数えなくなったり、数に興味・関心を持ち、学びたいと思えるような内容から始まっているように思いました。

啓林館はデジタルコンテンツが圧倒的に多く、解説動画も充実しているとのことでした。授業中に、振り返りをしたり、家庭学習で分からないことがあったときに自分で学び直しができたりするのは、算数が苦手な児童にも大きな助けになるのではないかと思いますので、啓林館がよいのではと思います。

[教育長]
[佐野委員]

他にご意見はございませんか。
本市でも学力調査で例年、応用問題には課題があると思います。そういった点でも、テープ図、線分図、関係図等を丁寧に系統的に扱っている啓林館がいいのではないかなというふうに考えます。また啓林館は、見開きや1ページで1時間の配分となっており、無理のない設定で、1時間の流れも分かりやすく、児童が見通しを持って主体的に学習が進められるのではないかと思います。

[教育長]
[橋本委員]

他にご意見はございませんか。
私が算数について一番思うのは、より学力差がどんどん開いていく、大きな教科ではないかなと。家庭学習で手助けするようなものがあるとか、圧倒的にコンテンツ数が多くて半分以上が解説動画であるとか、特に習熟度に応じた対応がなされているとの説明がありましたので、啓林館でいいのかなと思います。

[教育長]

他にご意見はございませんか。
それでは、算数について啓林館・「わくわく算数」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手》

全員一致で啓林館・「わくわく算数」を採択します。

【理科】

それでは、次に理科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[濱田主幹]

理科について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「思考力の段階的な向上を図れるような工夫が、それぞれの学年等でどのようにあったのか」とについての質問に対して、「どの教科書も、発問やどのような問題に対して子供たちに取り組ませるかというところ



で工夫されている。」と回答がありました。

次に、「啓林館が長く使われているが、他社のよいところや、啓林館で今回特に変化があったことは」という質問には、「啓林館はほかの社に比べて、子供たちの生活にすぐ密接に考えた問いというのが設定されていて、細かい単元設定という点でよく考えられている。ほかの社では、まず東書は画面をシンプルにしており、どの子にも分かりやすい紙面設定と紙面割りというのが見られた。学校図書は、学習に「冒険」という設定を与え、つけていく力というのを何々モンスターのような形で設定しているというのは、子供たちにとってすごく面白い設定だなというふうに思った。」とのことでした。

また、「啓林館の情報活用能力や問題解決の力を育むC B TであるW a C B T(ワクビット)とはどのようなものか」との問いに対しては、「ほかの社に関しても、QRコードを読み取って問題に答えることはできるようになっていたが、啓林館だけが、C B Tという言葉を出して内容も充実していた。」とのことでした。

「理科の学習については、学んだことをどれだけ自分の生活とか、身の回りの自然に生かしていけるかということが大事になると思うが、そういった広がりや発展的なものについて、優れた点や工夫されている点かあるか」との質問には、「どの社も、キャリア教育や、SDGs、STEAM教育につなげようという意識は高く、振り返りの後に、有名人へのインタビューや、自由研究という設定、特集ページなど、特徴を出して、広がる形で終わっていた。」とのことでした。

最後に、「物質の学習について、系統的にわかりやすく取り扱っているのはどの社か。また、問題解決の流れに持っていきやすい教科書は」との質問には、「問題・計画・予想のページがあり、ページをめくって結果が出てくるといふような工夫をしているのは、啓林館と東書だった。次に、単元自体の学び方については、各社それぞれの工夫があり、学校図書は、単元の配列に工夫がされていた。天候や気候の単元、地域の特色についてよく考えられているのは、啓林館、東京書籍だった。」との回答でした。

[教育長]
[狩野委員]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。
理科では、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮がとても必要になると考えています。その点で啓林館については、身の回りの自然に活かしていけるかどうかという視点を大事にしながら、具体的な体験をベースに対話的・協働的な活動を、単元の学習の様々な場面で設定してあり、また巻末にノートのとめ方や、話すとき、聞くとき、話し合いのときの要点があり、表現力を向上する視点も大切にされていると思いました。また、単元の終わりには、「くらしとリンク」のページを設定し、学んだことを暮らしに生かしたり、働く人へのインタビューを載せたりと、実生活やキャリアに広げる工夫があつて、今後活かされるのではないかなと感じました。

[教育長]
[橋本委員]

他にご意見はございませんか。
理科は私が苦手なせいもあるかもしれませんが、どの出版社を見ても非常に素晴らしいなと思います。特にICT活用について、非常にイメージしやすい解説や表現があるのが特徴であるという説明があつたところが、私の気に留まりました。

また、生活に密着したところがキーワードであるように思います。梶子の利用など、身近な物の中でより詳しく説明されていたり、生活の中に結び付ける点で、より多く解説されていたように思います。

[教育長]

他にご意見はございませんか。
それでは、理科について啓林館・「わくわく理科」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手》

全員一致で啓林館・「わくわく理科」を採択します。

【生活】

それでは、次に生活科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。



| | |
|---------------------|---|
| [濱田主幹] | <p>生活について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「教員の使いやすさ、子供たちが意欲的に取り組めるといった点で、薦められるものは」との質問には、「啓林館は、資料が大変多く、そして資料でもQRコードの動画でも、その中に答えがあるのではなく、子供たちがもっと調べに行ってみたい、外に出てみたいというような資料の配列、教科書の見せ方という点で優れている。」とのことでした。</p> <p>「生活科では、社会科や理科への接続が重視されると思うが、その点でも啓林館や東書が優れているということか」との質問には、「啓林館、東京書籍は、生き物の図鑑など、植物、生き物の資料が大変多くあり、それとともに、育て方や、どのように育つかという辺りの理科を意識した資料が多い点で優れている。特に、啓林館は、安心・安全、外への見学という点にも資料等をそろえており、今後の中学年への学習へのつながりというものを意識できるというふうに強く感じた。」との回答でした。</p> |
| [教育長] [佐野委員] | <p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p> <p>生活科は、低学年ですので、体験により学ぶところが大きいかと思えます。その点で、先ほどの説明にもありました通り、啓林館は資料の出し方や「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という学習の流れで、子ども達に意欲を持たせ、自然に体験して学びたくなったり、それを学習に生かしたりということがしやすくなっているように思いました。</p> |
| [教育長] [狩野委員] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>私自身が幼小の接続という点で非常に興味を持っておりますので、つつい幼児期の学びが小学校にどう繋がっているのかという視点で見せてしまいます。そういった視点で見ますと、特に生活科は幼児の教育を踏まえた指導をどのように工夫されているか、授業で発展されるかということに関心がございます。</p> |
| [教育長] [橋本委員] | <p>啓林館は、上巻で幼小接続に関わる「スタートブック」から始まり、幼児期の生活が反映されていると思えます。下巻で3年生以降の理科や社会、総合的な学習等につながる「ステップブック」がついており、接続について子どもたちにも保護者にも分かりやすくなっていると感じました。これらは、保護者や子どもたちについても安心や見通しにつながりますし、教員にとっても接続を意識した指導がしやすいのではないのでしょうか。</p> |
| [教育長] [橋本委員] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>生活科については、就学前教育と学校教育を繋げるという点で、八幡市としては非常に重視しているところであります。おそらく文科省もこのジャンルについては、非常に力を入れているのではないかと思います。資料が整っている等説明がありましたので、提案通りでいいのではないかと思います。</p> |
| [教育長] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、生活科について啓林館・「わくわく せいかつ・いきいき せいかつ」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で啓林館・「わくわく せいかつ・いきいき せいかつ」を採択します。</p> <p>【音楽】</p> <p>それでは、次に音楽についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、教育芸術社でございます。協議会が教育芸術社を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> |
| [濱田主幹] | <p>音楽について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「教育出版の特徴は」の質問に対して、「教育出版社の特徴としては、文字数が抑えられているので、子供たちにとって見やすい。写真等もふんだんに使われており、全体的に情景や様子を思い浮かべやすい。また、教科書の最後に音楽ランドというページが設けられており、教科書で習う以外のたくさんの曲が紹介されているので、そこでたくさんの曲に触れるということも可能である。」とのことでした。</p> <p>「今後、子供たちが自分で感じたものを表現するということが大事なことだと思うが、教育出版社と教育芸術社で、創作活動や表現活動について、どちらの教科書が多いのか」との質問に、「どちらが多いところまでは調べられていないが、両方を比べたときに、前回</p> |



まで使っていた教育芸術社の方が、今までの蓄積や、見通しを持てるので、鑑賞曲など今までの曲が多く使われている教育芸術社のほうが、指導者としては指導しやすいのではないかと。また学びを見通せるという点で、子供も教師も教育芸術社のほうがよいのではないかとという意見が出ていた。」とのことでした。

また、「特に教育芸術社のほうは、ほぼ全ての題材にQRコードがついていたが、この使い勝手や内容などについてはどんな評価をしているか」との質問に対しては、「前回の教科書も教育芸術社なので見返してみたところ、同じ内容のものが多いなというふうには感じたが、曲ごとに楽器の使い方や、それぞれの曲の特徴などを示したQRコードであり、とても分かりやすい内容か思っている。」とのことでした。

最後に「QRコードでピアノの音や合唱曲のそれぞれのパートの音が出てくるようになっており、この点で教育芸術社の方が徹底していると感じたが、子供たちにとって、主体的に予習したり、リコーダーの練習をしたりする点で、使い勝手や音楽の指導に関して、何か調査員の間で議論や感想はあったか」との質問には、「教育出版のほうは、表現や感性をやればやるほど伸びるという意見があったが、それは指導者が音楽が得意な場合であって、初めて指導するものとか、音楽の指導が苦手な教員もいる中で、教育芸術社のほうが誰でも同じように子供たちに指導に当たれるのではないかと意見が出ていた。」という回答でした。

[教育長]
[佐野委員]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。教育芸術社は、めあてや振り返りが分かりやすく示されており、その単元の見通しが立てやすいと感じました。また「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」といったアイコンで、それぞれの時間で何を学習するのかが、はっきり分かるようになっていました。また「がくふマスター」や「歌声ルーム」の記載があることで、音楽の指導が苦手な教員にとっても、ポイントがよくわかり、その単元で何を教えればよいのか抜け落ちがなく指導しやすいのではないかと思います。

[教育長]
[八頭司委員]

他にご意見はございませんか。教育芸術社は、色分けで活動のポイントがよく分かるようになっていたり、キャラクターの吹き出しによる会話文や教科書内に大きく配置されたワークシートなど、児童が主体的に活動したり、表現や思考のイメージをしたりするのに効果的ではないかと感じました。QRコードもほぼ全ての見開きページにあり、学習者にも指導者にも役立つのではないかと思います。

[教育長]

他にご意見はございませんか。それでは、音楽について教育芸術社・「小学生の音楽」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手》

全員一致で教育芸術社・「小学生の音楽」を採択します。

【図画工作】

それでは、次に図画工作についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、日本文教出版でございます。協議会が日本文教出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[濱田主幹]

図画工作について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「それぞれの教材で子供たちが材料を持ち寄ることも多いと思うが、どちらの教科書の方が、準備物を準備しやすいのか」との質問に対して、「調査員の間では、日文のほうが、低学年で、造形遊びの材料についてシンプルなものが提案されていることが多いなど、身近なもの、手に入りやすいものを集めるという点で、いろいろ工夫されているとの意見が出ていた。」とのことでした。

「教科書の写真や活動、吹き出しなど、実際、教員の立場でもどちらのほうがより一層イメージが膨らむのか」との質問には、「日文の方が、子供たちが実際に活動しているところが記載されており、使いやすい。」とのことでした。

[教育長]
[佐野委員]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。説明にもあったように、日文は、掲載されている写真が、モデルを撮影したようなものではなく、実際の学習活動の中で撮ったものが採用されており、学習の意欲につながったり、



| | |
|----------------------|---|
| [教育長] [橋本委員] | <p>イメージを持ちやすかったりするのではないかと感じました。また、教科書の最後にある「用具や材料の使い方」のページも日文の方が、見やすく、分かりやすいと感じました。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>芸術も私の苦手な分野ですが、感性とか技術とか形のありそうでないものを如何に育てていくのか、先生方の御苦労が非常に感じられます。最終的には先生方が教えやすい、扱いやすい、今までと同じような形で継続的にご指導いただけるものをとということで、もしこちらを選ばれたら前回と引き続き同じなので、先生方も教えやすいのではないかと思います。</p> |
| [教育長] | <p>めあてが毎回はっきり書かれているので、わかりやすく、学びやすく、見通しが立てやすく構成されているのではないかと思います。図画工作で学んだことが実際の生活に結び付いていくというような説明がありました。芸術科は鑑賞も大事になりますので、学習活動が鑑賞と繋がるように、教科書の内容の配置のわかりやすさと併せていい教材ではないかと思えます。</p> |
| [教育長] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、図画工作について日本文教出版・「図画工作」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で日本文教出版・「図画工作」を採択します。</p> <p>【家庭科】</p> <p>それでは、次に家庭科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、開隆堂でございます。協議会が開隆堂を選定した理由を事務局から説明をお願いします</p> |
| [濱田主幹] | <p>家庭科について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「両方の教科書共に共通点が多いと思うが、どのような捉え方や意見が出たのか」との質問に、「動画については、東京書籍は、閲覧のしやすさやNHKの動画があるなど引かれる点が多くあった。しかし、東京書籍は情報量が大変多いので、配慮の必要な子供たちに対して厳しいのではないかという意見が出た。開隆堂は、情報量がある程度厳選されていて、すっきりしている。」との回答でした。</p> <p>「結果的にできたものを見るだけでなく、経過も踏まえて評価することになるが、評価も含めた使いやすさは」との質問に対しては、「評価という点では、東京書籍が良いという意見が多く出た。しかし、個人の格差が大きい部分を埋めるための動画や写真の掲載という部分になってくると、甲乙つけ難い。」とのことでした。</p> |
| [教育長] [八頭司委員] | <p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p> <p>開隆堂はイラストや囲みなど配置がすっきりしており、情報も整理されて、見やすいと感じました。また調理や製作の例に星の数で難易度が示されているので、何を作るかを選択する際の指標となると思いました。学習指導要領で示されている「主体的に学ぶ態度」での自己調整の力を評価するような場合にも活用できるのではないかと思います。</p> |
| [教育長] [狩野委員] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>いま様々なところで多様性、SDGsの観点で物事を考えることが大切になっております。開隆堂の教科書は多様性が意識されていて、多国籍の人々や障害のある人などがイラストだけでなく写真でも登場していたり、LGBTに配慮して、色や柄の選択に固定観念を持たないように工夫されていたりしていました。これから多様性を認め合うことが必要とされる世界を生きる子ども達にとっては、大切な視点ではないかと思えます。</p> |
| [教育長] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、家庭科について開隆堂・「小学校 わたしたちの家庭科」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で開隆堂・「わたしたちの家庭科」を採択します。</p> <p>【保健】</p> <p>それでは、次に保健についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でござい</p> |



| | |
|---------------------|---|
| [濱田主幹] | <p>ます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>保健について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「東書の四つのステップについて、具体的には」との質問には、「まず、身近な課題から自分の行動を振り返るところから入っていき、その中で、なぜ起こるのだろうか、あるいは防ぐにはどうしたらいいのだろうかということを自分の頭の中でまず考えていく。そして、交流を通して対話的に、友達の意見はどうかということも話し合っていくながら、最終的にはこれからの自身の生活に向けてどのようにしていったらいいのだろうかとの問いかけで、最後までまとめて終わるという四つのステップになっている。全ての単元において、このような構成がなされている。」とのことでした。</p> <p>次に「体の発育・発達の単元のところの写真とイラストなどの取り扱い方についてどういう意見が出たか」という質問には、「調査員の中で使いやすいとの意見が出たのは、QRコードだった。東書については、実際に体のつくりがどのように変わっていくのかを、3Dでひっくり返して見られたり、NHKの体の特集のような映像があったりして、大変分かりやすかった。」との回答でした。</p> <p>また「日常の生活を送る上で心身ともに生活をして、健康な生活を意識づけるような教科書は」との質問には、「東書は、QRコードで自分の考えを書き込むものがあったり、他の人の意見も取り入れながら実践していこうとしたりする工夫がされていた。」とのことでした。</p> <p>「他教科とのつながりを意識したような教科書は」との質問には、「各社ともに理科や家庭科とのつながりについては記載があった。東書は、それぞれの単元の中で、ピンポイントで教科の関連が記載されており、一番分かりやすかったと思う。」とのことでした。</p> <p>「QRコードで映像で見ることに、見やすい教科書は」という質問には、「東書は、QRコードのリンクを押すと、その場でその画面が出てくるので、すぐ活用できるというのがよい。」とのことでした。</p> |
| [教育長] [佐野委員] | <p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p> <p>東書は、単元構成が、4ステップで統一されており、学習の流れがわかりやすいと思います。また、それぞれのステップごとに、教科書の中に自分の考えを書いたり、友だちの考えを比較したり、まとめたりするための書き込みスペースが大きくとってあり、使いやすいのではないかと思います。それに登場するキャラクターがジェンダーレスになっていて、車椅子の児童がいたりするなど、多様性もあると思いましたので、いいなと思いました。</p> |
| [教育長] [狩野委員] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>色々な教科でQRコードを盛り込んだ教科書が使われていると思います。説明にもあったように、東京書籍は実生活や他教科とのつながりをとても大事にしたQRコードの使い勝手などの点で良いのではないかと思います。</p> |
| [教育長] | <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、保健について東京書籍・「新しい保健」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で東京書籍・「新しい保健」を採択します。</p> |
| [濱田主幹] | <p>【外国語】</p> <p>それでは、次に外国語についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>外国語について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「子供たちが慣れ親しみやすく、また、教職員にとって使用しやすい教科書というのは、具体的にどういった教科書か」との質問に、「知識、技能の習得というところがベースにあるが、書き込みが多いことで見通しが持ちやすい子もいれば、抵抗のある子もいる。子供たちにつけたい力をつけるだけの有効な内容を示されたものとして活用すべきものであるかと思う。子供たちが友達同士や指導者とのやり取りを通じて英語の表現に慣れ親しんでいくような教科書がよいと考える。」とのことでした。</p> |



| | |
|-----------|--|
| | <p>「具体的にこの教科書が進めやすいという教科書があればその教科書名と、その理由は」との質問には、「光村図書で、理由は、指導者が学習活動を選択できる自由度の高さがあり、それぞれの子供の実態に応じた授業の展開ができる余地がある。」との回答でした。</p> |
| [教育長] | 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。 |
| [橋本委員] | 英語嫌いを作らない、外国語アレルギー、外国人アレルギー等を作らないことが一番心配しているところです。書くという作業に抵抗があると説明がありましたが、光村図書は書き込み欄が精選されており、書くことが苦手な児童にも配慮されていると思いました。 |
| | 構成を見てもポップ、ステップ、ジャンプという流れがはっきりしており、どの児童にも分かりやすいのではないかと思います。説明にもあった指導者の自由度、点検しやすさと併せて、時間的な配慮も含めて色々応用が利くような気がしました。 |
| | 担任の先生が教えることもあれば、外国人教師と一緒に教えることもあり、子どもたちも様々な子がいますので、柔軟多岐にわたって上手く授業展開ができる教材であると思います。 |
| [教育長] | 他にご意見はございませんか。 |
| [八頭司委員] | 光村図書は、説明にも合った通り、授業展開の自由度が高く、担任だけでなくネイティブスピーカーが指導したり、いろいろな活動を入れて学んだりする小学校の外国語の授業では、使いやすいのではないかと思います。 |
| [教育長] | 他にご意見はございませんか。 |
| | それでは、外国語について光村図書・「Here We Go!」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 |
| | 《委員全員挙手》 |
| | 全員一致で光村図書・「Here We Go!」を採択します。 |
| | 【特別の教科 道徳】 |
| | それでは、次に特別の教科道徳についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、日本文教出版でございます。協議会が日本文教出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。 |
| [濱田主幹] | 特別の教科 道徳について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「日本人の心の豊かさ、相手への思いやりとか、世界の中でもトップクラスのそういうすばらしいものが一体どこから来ているのかについて、話し合われたのなら、そのことを教えてほしい」との質問には、「そういった話はなかなか出てこなかったが、各社ともに大谷翔平選手や藤井聡太名人など人物教材が豊富にあった。また、SDGsも各社ともに取り上げられており、世界の繋がりでの学習にも取り組めるようになっていた。」とのことでした。 |
| | 「調査委員会として薦めたい教科書は」との質問に対しては、「日本文教出版の教科書に印象の良い意見が多かった。例えば、いじめ防止に関しては、直接的ないじめを取り扱った教材と、間接的に取り扱った教材と、コラムという形で、いじめについて、とても分かりやすく、しかも学期ごとに取り組めるというふうに配置されていた。また、日常生活を取り上げ、道徳を人ごとではなく、自分ごととして感じられるような教材もあった。」との回答でした。 |
| [教育長] | 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。 |
| [佐野委員] | 日文の教科書は、それぞれの題材で特に特徴的なものに、「いじめをなくすために」「よりよい社会」「安全くらし」「人との関わり」という分類がされていて、ユニット的に学習に取り組めるようになっていました。また、いじめについては、間接的に扱った教材と直接的に扱った教材が組み合わされており、実態に応じて教材の組みかえ等、臨機応変に取り組めるようになっていていると思います。 |
| [教育長] | 他にご意見はございませんか。 |
| [橋本委員] | 最近の道徳の教科書は各社非常によくできており、教材についても大谷翔平選手や藤井聡太名人など新しいことを取り入れ、深い学びができる教材を選ばれているように思いました。こういった教材をどのように使いこなされるのか、いつも心配していますが、日本文教出版は別冊ノートが付いているのが特徴的で、あまり細かく指示せず自由に書かせるのが評価できるのではないかと思います。 |



| | |
|----------|---|
| | <p>「心のベンチ」で人権等にも配慮したところが押さえられており、非常に特徴的でありませす。また、「見つけた！ここにも道徳」で日常に振り返るようなページが用意されているのも特徴であります。経験の浅い先生方でも様々な実践活動に応じて多様な使い方ができる、別冊もあるという辺りが使いやすい教科書ではないかと思ひます。</p> |
| [教育長] | <p>他にご意見はござひませんか。</p> <p>それでは、特別の教科 道徳について日本文教出版・「小学道徳 生きる力」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いしませす。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で日本文教出版・「小学道徳 生きる力」を採択しませす。</p> <p>お疲れさまでした。教科書採択にかかる本日の協議は、全て終了いたしました。ここで、事務局のほうから確認をお願いしませす。</p> |
| [濱田主幹] | <p>それでは、本日の協議の結果につきまして報告をいたしますので、御確認のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>令和6年度以降に使用する小学校教科用図書につきましては、教科、発行所の順に申し上げますので、確認のほどお願ひしませす。</p> <p>国語・光村図書、書写・東京書籍、社会・日本文教出版、地図・帝国書院、算数・啓林館、理科・啓林館、生活・啓林館、音楽・教育芸術社、図工・日本文教出版、家庭・開隆堂、保健・東京書籍、英語・光村図書、道徳・日本文教出版、以上の結果となりました。</p> |
| [教育長] | <p>協議いただいた結果については、以上のとおりですけれども、何か御質問等ござひませんか。特にないようですので、令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択協議について、終了いたします。</p> <p>次に、配付資料について、事務局より説明願ひしませす。こども未来課。</p> |
| [長尾課長] | <p>3. 配付資料</p> <p>配付資料でござひませす、6月分と7月分の定例教育委員会の議事録をお手元にお届けをしておひませす。</p> |
| [教育長] | <p>それでは次に、次回定例教育委員会の日程につきまして、事務局より説明をお願いしませす。</p> |
| [長尾課長] | <p>次回の定例教育委員会の日程でござひませす。9月13日水曜日、午後3時から庁舎3階教育委員会室で開催をいたします。学校訪問については、10時から男山中学校、11時30分から男山東中学校への訪問を予定しておひませすので、よろしくお願ひいたします。</p> |
| [教育長] | <p>4. 閉会</p> <p>それでは、以上をもちまして、臨時教育委員会を閉会させていただきます。ご苦勞様でござひませす。</p> |